

平成29年度事業報告書

1. 公益事業（一般会計）

I. 全国科学博物館活動支援事業

事業細目	内 容
1. 全国科学博物館調査研究等助成事業	(1) 全国の科学博物館における調査・研究・教育普及活動等に対して直接助成を行った。助成件数 19件
	(2) 野依科学奨励賞の実施に対して助成を行った。 教員・科学教育指導者の受賞者 2名
	(3) 「国際博物館の日」記念事業等に対して助成を行った。 ①「国際博物館の日」 ・5月18日に実施された事業に対し、パンフレット制作に助成した。 ②「教員の日」(7月25日～28日) ・ショップ商品特別割引(10%)を行った。
	(4) 国立科学博物館所蔵の三つのテーマに沿ったパネル等を活用し、地域博物館等において巡回展を実施した。 ノーベル賞を受賞した日本の科学者

施設名	期 間	入場者
明石市天文科学館	29. 7. 15～ 29. 9. 3	26,603人
千葉県立現代産業科学館	29. 9. 20～ 29. 11. 22	11,592人
高崎市少年科学館	29. 12. 6～ 30. 1. 21	12,910人
岡山市半田山植物園	30. 2. 10～ 30. 3. 11	2,790人

日本の生物多様性とその保全

施設名	期 間	入場者
おびひろ動物園	29. 4. 29～ 29. 6. 30	71,651人
越谷市立児童館ひまわり	29. 7. 15～ 29. 8. 4	1,680人
東金こども科学館	29. 8. 11～ 29. 9. 15	2,740人
富山県中央植物園	29. 9. 23～29. 10. 18	6,192人
横須賀市自然・人文博物館	29. 12. 9～29. 12. 24	2,512人
高崎市少年科学館	30. 2. 3～ 30. 2. 25	7,450人

	ダーウィンを驚かせた鳥たち		
	施 設 名	期 間	入場者
	福島県野生生物共生センター	29. 10. 21～29. 11. 26	254人
	福島県環境創造センター	29. 12. 19～30. 1. 14	2, 992人
2. 全国科学博物館協議会との共同主催事業	(1) 海外科学系博物館視察研修に対して助成を行った。 12名参加 実施日時：平成30年1月15日(月)～1月25日(木) (11日間) 公式訪問：ドイツ・オーストリアの以下施設 ① ゼンケンベルク自然史博物館 (フランクフルト) ② ドイツ博物館 (ミュンヘン) ③ ウィーン産業博物館 (ウィーン) ④ ZOOM 子ども博物館 (ウィーン)  ドイツ博物館 (2) 第25回研究発表大会に対して助成を行った。 開催日：平成30年2月15日(木) 会 場：福岡市科学館(福岡市) テーマ：地域文化の核となる博物館～地域振興の観点から 参加者数： 135名 (81館)		

Ⅱ. 科学情報の開発・普及事業

事業細目	内 容
1. 自然科学情報普及事業	全国の科学系博物館、大学・高専図書館、都道府県立中央図書館、国立研究機関等へ自然科学情報誌「ミルシル」(国立科学博物館発行)を配布した。 年6回、1回あたり約1,700部(年約10,200部)
2. 自然科学活動等振興調査事業	(1) ミュージアムショップの奥にある「サイエンスナビコーナー」において、自然科学学習プログラム(工作・観察等)を41回実施し、1,129名の参加を得た。

	(2) 博物館調査研究事業 期 間：平成29年11月2日～3日 調査先：九州国立博物館、福岡市科学館 調査者：財団管理課長 川崎 信之
--	---

2. 収益事業(特別会計)

(1) 一般事業の実施

事業細目	内 容
1. 国立科学博物館に関する 書籍の出版・販売	(1) 国立科学博物館発行「mil sil (ミルシル)」の販売を行った。 (2) 地球館ガイドブック、日本館コンセプトブック等の販売を行った。 (3) 絵葉書、その他刊行物の販売を行った。
2. ミュージアムショップに おける教育標本等販売	(1) 展示品をモチーフにしたマスキングテープ等、オリジナルグッズの販売を行った。 (2) 委託商品の販売を行った。 (3) Web通信販売を行った。

(2) その他

事業細目	内 容
両替機の設置	両替機を設置し、来館者への便宜を図った。